



第１次ニホンザル管理計画（案）の概要（やさしい版）

1　「第１次ニホンザル管理計画」の目的は？

○ この計画は、岩手県で生息しているニホンザルを適切に管理し、人とサルが安心してくらせるようにするための計画です。

○ 近年、サルの数や活動する場所が少しずつ広がり、畑の作物が食べられる被害が増えています。また、人の住む場所の近くで見られることも多くなっています。

○ 一方で、ニホンザルは岩手県の自然の中でくらす大切な動物でもあります。

○ サルの群れを守りながら、農作物や人の生活への被害を減らし、人のくらしと豊かな自然の両方を守ることが、この計画の目的です。期間は、令和9年度から令和１３年度の5年間です。

2　いまの状況と課題は？

○ 岩手県では、ニホンザルが主に五葉山周辺に生息しています。近年はサルの群れや生息する地域が少しずつ増えており、農作物への被害も増えています。サルは果物や野菜などを食べるため、農家の人たちが困っています。

○ また、人の住む場所の近くに現れたり、人をあまりこわがらなくなったりする群れも見られます。

○ これまで追い払いや防護柵の設置などの取組を進めてきましたが、被害は続いています。そのため、サルの群れを守りながら、農作物や人のくらしを守ることが大きな課題となっています。

3　計画で取り組むことは？



○　サルの生息場所を調べ、群れの大きさと数、人への反応、農作物や生活への被害の状況を確認します。そして、その結果をもとに、効果のある方法を選んで対策を進めます。具体的には以下のとおりです。

○　畑や果樹園を守るため、防護柵を設置します。

○　サルが人里に近づかないようにするため、地域のみんなで追い払いを行います。花火などを使って追い払うことで、サルが人をこわがる気持ちを保つことが大切です。

○　収穫しないまま残った果物や野菜を片付けたり、やぶを刈ったりして、サルが近づきにくい環境をつくります。

○　それでも被害が続く場合には、群れによる被害の状況やこれまでの対策の効果を踏まえて、必要な範囲で捕獲を行います。

○　県や市町村、地域の人たちが協力し、農作物や自然を守り、人とサルが共にくらせる地域をめざします。

意見の感想の提出について

提出方法	● 郵送(手紙やハガキ)の場合 あて先に「〒020-8570 岩手県環境生活部自然保護課」と書いて送ってください。住所は書かなくても大丈夫です。 ● ファックス(FAX)の場合 「019-629-5379」の番号にファックスを送ってください。 ● 電子メールの場合 「FA0031@pref.iwate.jp」までメールを送ってください。
意見や感想の書き方	・意見や感想の書き方は自由です(決まりはありません)。 ・ファックスや電子メールを使って意見や感想を提出する場合は、県のホームページにある回答用紙【やさしい版】を使うと便利です。 https://www.pref.iwate.jp/public_comment/1097882/1102529